

デイサービス 田園倶楽部 令和4年度 第1回 家族会



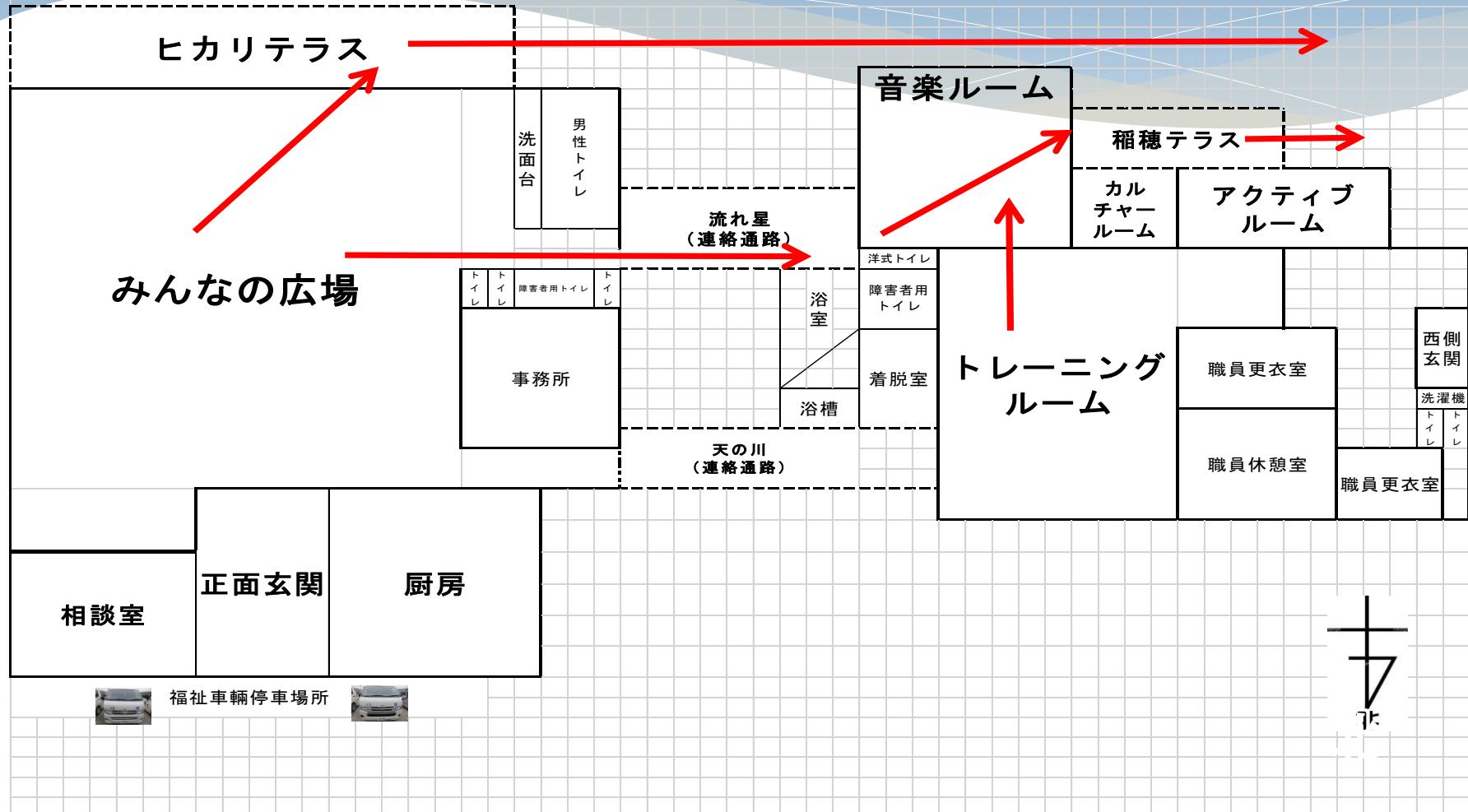
- * 開始時間：10:00
- * 本日は、お忙しい中ご来場いただきありがとうございます。
- * ユニマットのお茶やコーヒーをご自由にお飲みください。
- * お手洗いは、みんなの広場に洋式3ヶ所、男性用3ヶ所あります。
- * 自動販売機もご自由にご使用下さい。

本日の流れ

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 10:00 | 家族会開会 |
| 10:05 | 桑山会長挨拶 |
| 10:15 | 岡田部長挨拶 |
| 10:20 | 田園倶楽部職員紹介 |
| 10:25 | ご家族様自己紹介 |
| 10:30 | 田園倶楽部の概要や運営について
令和4年度年間行事(予定) |
| 11:10 | トイレ休憩 |
| 11:20 | フォトストーリー開始 |
| 12:00 | 閉会(アンケート回収) |

田園倶楽部フロア案内図

緊急事態避難経路（地震や火事の場合）



田園倶楽部の沿革

田園倶楽部は、平成17年5月に開設。当初は介護予防型デイサービスとして運営しておりました。

介護保険制度の流れと共に、平成23年より改革をしてきました。

この時期、小規模のデイサービスは、経営が厳しくなり倒産する企業も出てきました。また、介護保険制度ができたから10年が経過し介護保険制度を利用する方も増えてきました。

住み慣れた自宅で生活をしていく為に、デイサービスを利用される方も多くなり、**多様性**が求められるようになりました。

それは、他のデイサービス事業所と良い意味での競争です。デイサービスは、4種類の規模があり全国一律の基本サービス費となっております。田園倶楽部は現在大規模Ⅱという規模で一番大きいデイサービスに区分されます。（注：加算関係は事業所ごとに違います）

田園倶楽部の介護理念

一、温かな心をもち、ご利用者様やご家族様との
信頼関係を大切にする

一、沢山の方(個々)に対応する介護力や看護力を発揮できる

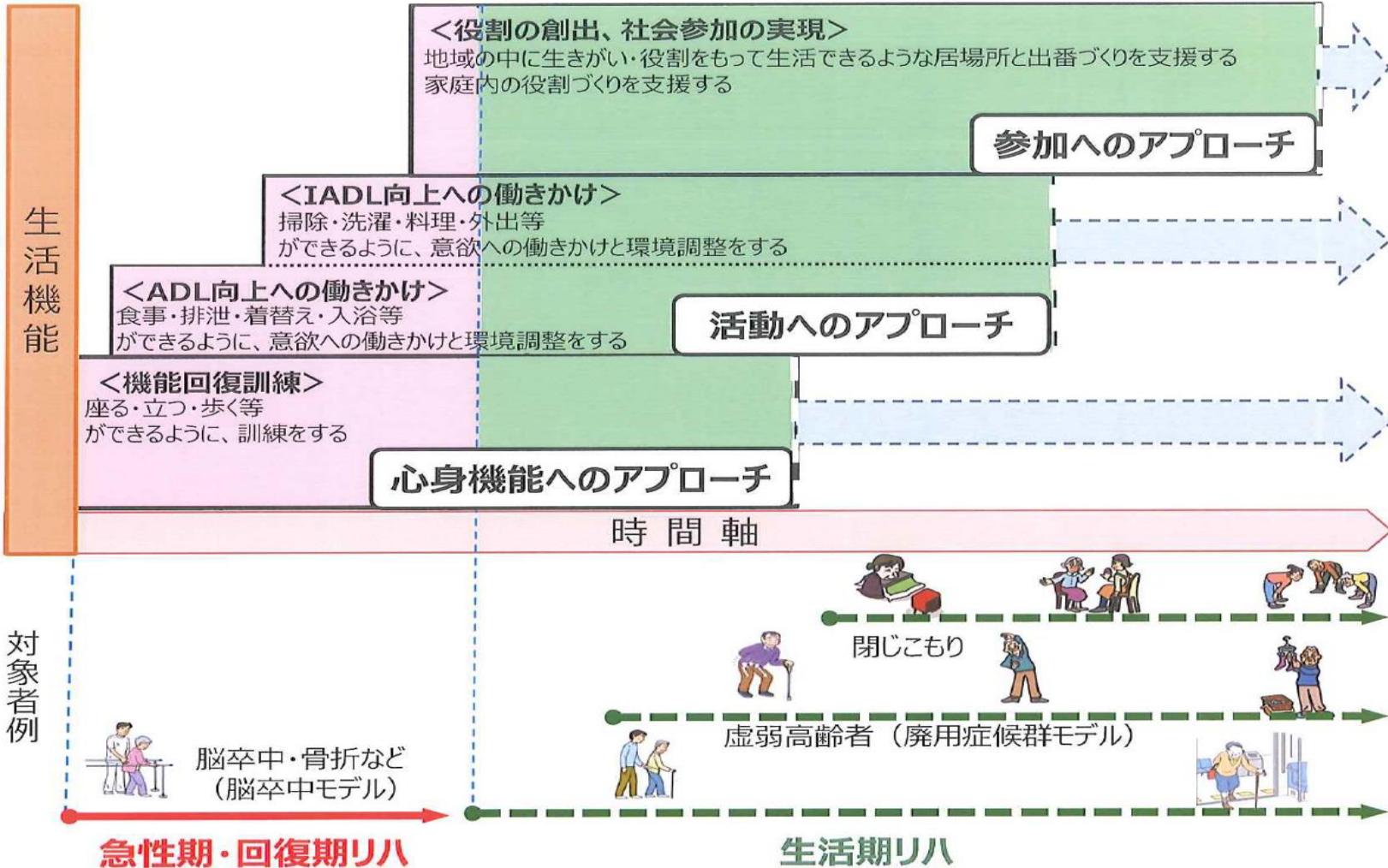
一、職場の風土を大切にして、連携の図れた介護・看護を行なう

一、自立支援を第一に考え、ご利用者様が長い期間
自宅で生活できるようにする

一、ご利用者様の尊厳を守り、幸せな時間を
過ごせるサービスを提供する

一、ご利用者様が社会の中に生きがいをもって参画が
できるようなプログラムを提供する

田園倶楽部の断続的な支援



田園倶楽部のクラブ教室

利用者様に達成感を味わってもらう為の仕組み

(PDCAサイクルを活用した、達成感を感じる仕組み)

●畑のプログラム

(土壤作り→苗を植える→育てる→販売→新しい苗を購入)

●文芸田園

(短歌を作る練習→作品を飯能文化新聞へ投稿→掲載)

●書道教室、美術教室、クラフトクラブ、裁縫クラブ、田園工務店

(作品を作る→展示→利用者様へ配布または設置)

●職員の名前の入ったクラブ

(中山さん家の音楽隊・塩野さん家のカメラ隊・岩本さん家の音読サークル・大竹さん家のおやじの屋台・久保木さん家のかあちゃん食堂・ビューティ清水のLet'sメイク)

●囲碁・将棋・麻雀・カラオケ大会

(毎月大会を行ない、年間優勝者へ表彰状授与)

●生涯現役祝賀会(敬老会)令和3年度は通所回数を割り出し。

田園倶楽部職員への研修

※外部研修、内部研修の実施

外部研修では、新人職員、中堅職員、リーダー、管理者等、埼玉県社会福祉協議会の研修へ参加。
その他、たんぽぽ法人で外部講師を依頼して人材育成に力を入れております。

内部研修では、デイサービスに特化した研修の実施。
(介護保険制度、介護援助技術、対人援助技術、感染症対策、介護マネジメント等実施)
今年度は接遇にも力を入れております。

田園倶楽部職員への研修

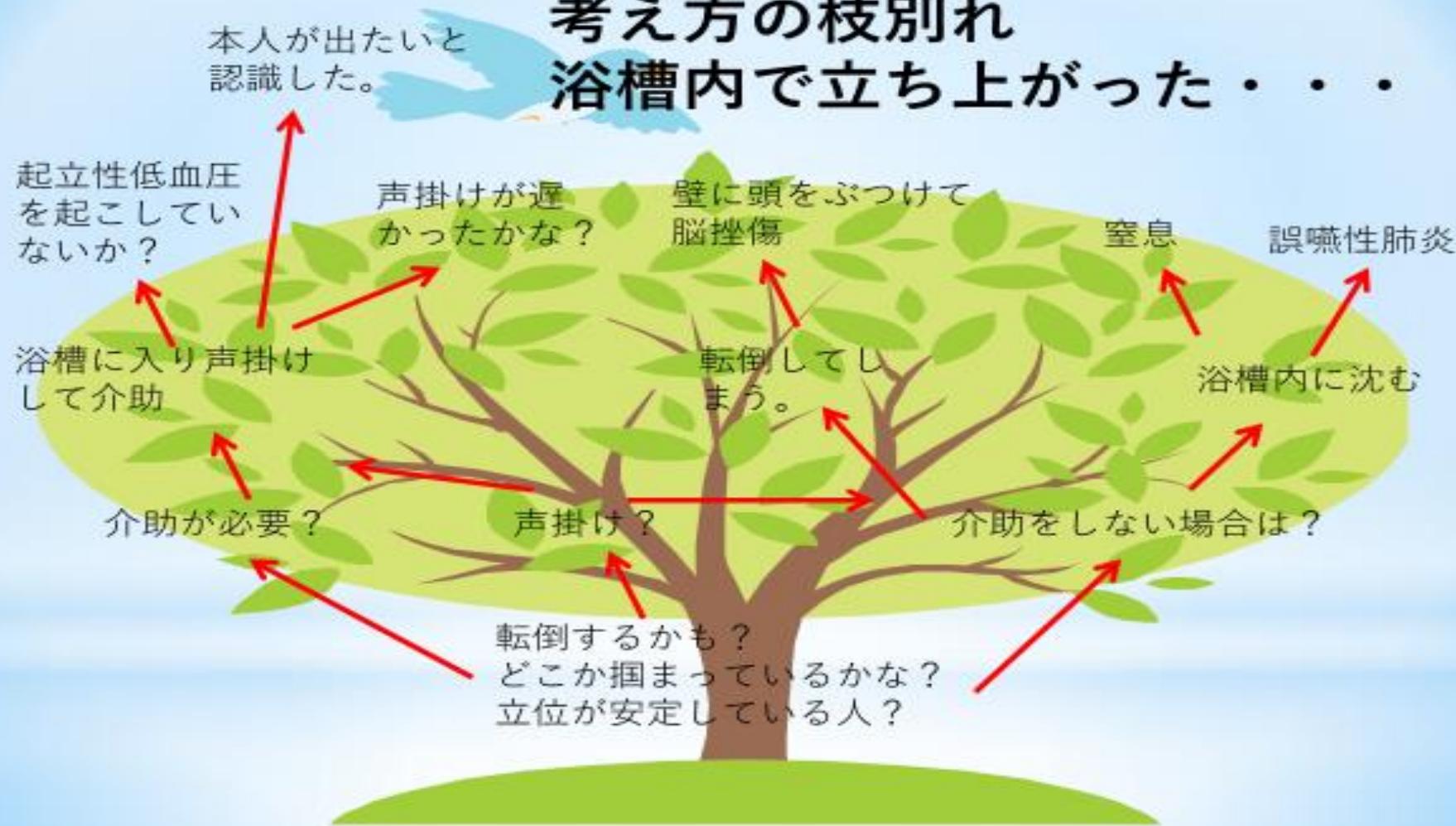
今まで実施している研修内容

- 自立支援について
- 接遇研修
- 介護の多角的な視点
- 通所介護計画書の作成
- 組織と福祉サービス
- 感染症について
- 高齢者心理について(実践)
- 対人援助技術
- 業務効率について
- 通所介護職種連携について
- ケースメソッド
(個人ケースの事例を基に対応を学ぶ)
- 管理者特別研修
- 介護の気付きの視点
- ケースマネジメントについて

- リスクマネジメントについて
- 田園倶楽部の職員としての心構え
- 人間力を向上させよう
- スーパービジョンについて
- 介護理念について
- チームケアの重要性
- 利用者、家族の視点
- 介護現場におけるモチベーション
向上について
- コミュニケーション技術について
- 介護のイノベーションについて
- アセスメントの視点を学ぼう
- 介護保険制度について
- 通所介護自主点検票について

介護職員プロとしての経験と知識

考え方の枝別れ 浴槽内で立ち上がった・・・



田園倶楽部の運営

①利用者様と職員の関係性

介護保険制度が始まり措置から契約の時代へと移行し、事業所は県から指定を受け運営するようになりました。

自立支援という理念のもと「お金を払って利用しているんだから…」「やってもらえないんですか？」など介護サービスを誤解している方もおります。

介護保険制度(国民の努力及び義務)

国民は、自ら要介護状態になる事を予防し、加齢に伴って生じる身体の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努めるものとする。

田園倶楽部の運営

②居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)

地域包括支援センター職員との信頼関係

田園倶楽部の活動内容の理解と利用者が利用する事での利点と効果打ち出しを行なってきました。また、信頼関係を作り、また依頼したいと思われる事業所である事が鉄則です。

現在は、飯能市のみならず、入間市、日高市、青梅市からも通いたいという希望を受けて対応しております。

田園倶楽部の運営

③要介護認定、要支援認定を受けている様々な状態像の方が利用できる施設。

地域包括ケアシステム（誰もが住み慣れた地域で30分以内で医療や介護等が受けられるシステム）が求められている。在宅サービスを基本とする需要が増え、要介護認定の重度の方の利用も増える。その時に田園倶楽部でいかなる状況の方も受け入れができる土台作りをしてきました。（介護医療に強いデイサービス）

田園倶楽部の運営

④職員への研修(無駄、無理、無益をしない)

無駄…物品や業務の優先順位を考えた動き、二度手間をなくす。

無理…無理と言わない。チャレンジ精神を持ち(～だからできない→～すればできる)

無益…時に無駄な動きや無駄な事も大切な事もありますが無益となる事は利用者様へのサービス対価に影響するので利用者様へ有益となる事に時間や力を注いできました。

田園倶楽部の運営

⑤ケアマネジメントの視点

どのような依頼をしたいか？どのような事が求められているか？を考察して運営をしています。(期待に応える)

居宅介護支援事業所、地域包括支援センターへ、田園倶楽部のアンケート調査を実施して、外部から見た印象や通所介護としての機能(役割)の拡充等を実施してきました。(男性の利用者様が多い。外出が多い。趣味活動が豊富。理学療法士の診たてが良い。)

心が元気になると体も元気になる！！

介護保険制度でできない事

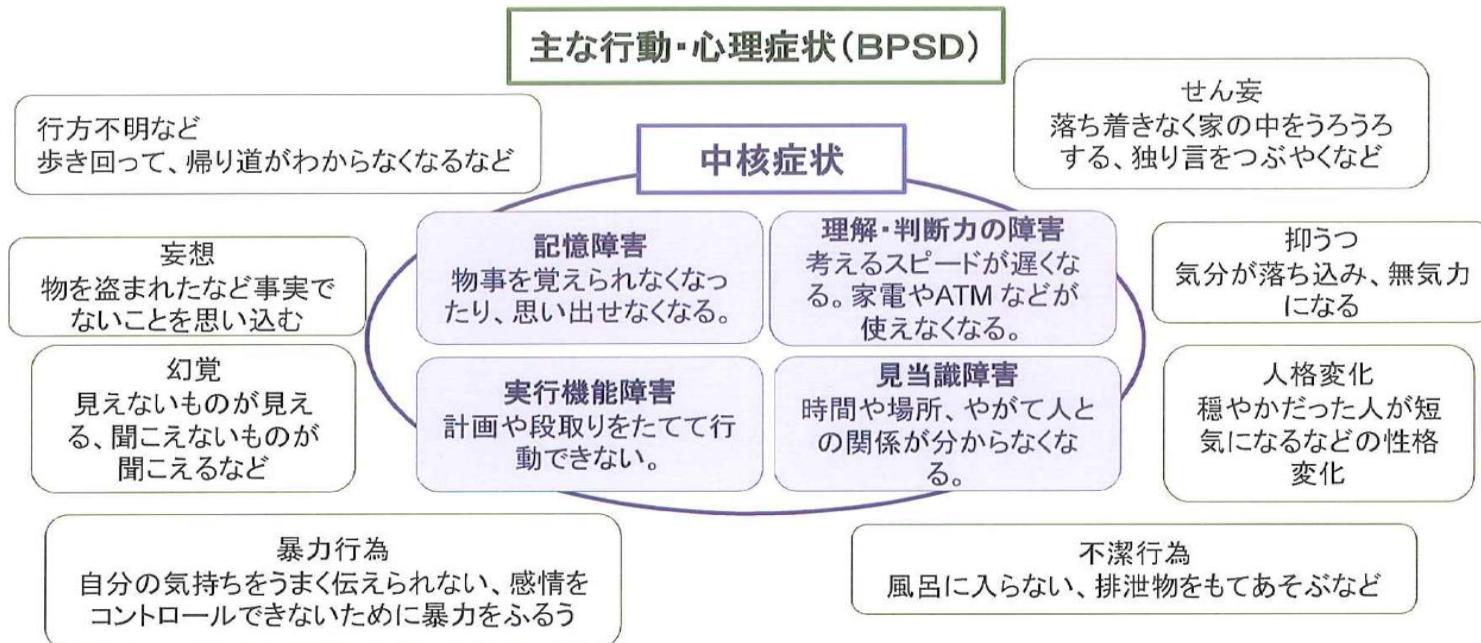
(デイサービスで出来ないを出来るへ替える取り組みの検討)

- ・送迎中に病院へ送る。
- ・家に帰る時に買い物(スーパーで降りる)。
買い物をデイサービス職員に頼む。(買物代行)
→送迎減算して自費で買い物付き添いを行なう。
(交通費と付添費を考えて例2,000円など)
- ・自宅の中の家事等を手伝う。
- ・個別機能訓練加算を取っていない方の外出。
(外部環境下訓練)
- ・休まずに皆勤賞を対価として渡す。
→スタンプカードを利用した仕組み(独自サービス)
→キッチンカーや訪問販売による買い物
- ・金品を受け取る。
- ・プライベートでの付き合い(利用者と職員)

認知機能面における症状

認知症の症状について

- 認知症の症状として、「中核症状」と「行動・心理症状(BPSD)」がある。
※ B P S D : Behavioral and Psychological Symptoms of Dementiaの略称



田園倶楽部の情報

登録者数:150名 内訳(男性112名・女性38名)

平均年齢:81,65歳(男性81.16歳・女性83,07歳)

要介護3~要介護5の方の全体の比率20%

(令和4年6月14日現在)

平均要介護度:1,8

事業対象者・要支援・要介護認定者割合

田園倶楽部要介護度別実人数

